

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「夢をかなえたいけど・・・なにからはじめたらいいか・・・

サッパリわからないという人へ。（夢のかなえ方 その①）～

答えは・・・それはね・・・えーとねえ・・・

「わからないまま進め！やり方がわかるようなら、それは夢ではなく……………それはね……
ただの……………引っぱり出すよー！……………「予定！」」というのです。

「いつか本を書いてみたい。」

僕がそんな夢を見始めたのが2002年。でも周りには本を書いたことのある人なんていなかったのだから、作家になる方法が分からず・・・行動を起こすこともなく2年が過ぎました。

そんなある日、心理学の講座を受講したときのこと。8人のグループワークで、僕は本を書いてみたいという夢を語りました。すると偶然にも…その輪の中に作家さんがいた！

「お前、本書きたいの？」

彼は僕より年下だったにもかかわらず、「おまえ」と完全な上から目線。

「・・・はい、本を書いてみたいです。」と答えると、いきなり彼はこう言いました。

「原稿は？」（作家さん）

「え？原稿ですか？まだ書いてないです。」

「お前、意味わかんねえよ。」（作家さん）・・・「え？」

「だって、お前、本書きたいのに原稿ないんだろ。意味わかんねえよ。」（作家さん）いきなり「意味わかんねえよ」あつかいです。

「よく考えてみろ。『僕はミュージシャンを目指しています。1曲も作曲してませんが。』というやつがミュージシャンになれると思うか？お前はそれと一緒にだよ。俺は本を書きたいと思った時点で書いた。で、いつなるとき編集者に会っても渡せるようにカバンに入れてきた。なんでお前のカバンから原稿が出ない？いまお前のカバンから原稿が出てきたら、俺はすぐに編集者に渡してあげたよ。お前はチャンスを台無しにしてる。意味わかんねえよ。」

これに対して・・・「そうは言うけど、僕の周りに本を書いた人なんかいなかったんだ。だからやり方がわからなかったんだ！」・・・とは言えなかった。

もう、悔しくて・・・悔しくて・・・とにかくわからないまま進むしかないと思い、ブログを立ち上げ、なんでもいいから1話書いた。それ以来毎日書き続けた。

結局それが僕のデビュー作「3秒でハッピーになれる名言セラピー」につながりました。

「あなたの人生がつまらないと思うのなら、それはあなた自身がつまらなくしているんだぜ。」
ひすい ことろう （ディスカバー・トゥエンティワン）



方法ばかりを探していると、「〇〇がないから」「〇〇のチャンスがないから」と、できない理由ばかり考えてしまうものです。方法なんてわからなくたって、今できる、今日できる一歩を踏み出せば、次の一歩が見えてくるのかもしれないね。

「やってみなければわからんことだけが・・・楽しい」

——by きつかわ ゆきお（プロデューサー、出版編集者、マーケッター・デジタルメディア研究所所長）